

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第22回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成25年6月25日(火) 午後1時30分～午後3時30分	場所	木津川市役所第2北別館 2階会議室
出席者 (出席者…■ 欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長・議長)、■大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■坂本佳津子委員、□関和香子委員、■大村裕信委員、■神野勝三郎委員、■鶴岡由雄委員、■坂本利正委員、□中岡武司委員、□城野敏之委員</p> <p>【事業者】</p> <p>□寺嶋 勤委員、■森本耕司委員、■川邊経恭委員 ※代理:橋本倫尚(奈良交通株式会社乗合事業部課長)、■津田秀夫委員、□近藤智彦委員、■筒井基好委員 ※代理:伊藤由夫(城南タクシー株式会社取締役)、■梅田幹夫委員、□加藤 隆委員、■大西秀樹委員 ※代理:霜永勝一(奈良交通労働組合副執行委員長)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■川合宏和委員 ※代理酒井敏一(国土交通省近畿運輸局京都運輸支局運輸企画専門官)、□池田広三委員、□中安隆年委員、■湯瀬敏之委員、■今西克禎委員、■滝清 基委員 ※代理:吉水 誠(京都府木津警察署交通総務係長)</p> <p>□河井規子委員(会長)、□田中達男委員、□藤林英和委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>■(近畿運輸局企画観光部交通企画課長)加納陽之助</p> <p>※代理:小篠祥幸(近畿運輸局企画観光部交通企画課係長)</p>	
事務局	尾崎課長、奥田課長補佐、富井主任		
傍聴者			
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 協議事項 平成26年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①加茂地域予約型乗合タクシー及びコミュニティバスの運行について</p> <p>②木津川市コミュニティバスの利用状況について</p> <p>③1日フリー乗車券の販売状況等について</p> <p>(3) その他</p> <p>①次回法定協議会の日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1. 開会 事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 議事 運営内規に基づき、会議録の署名委員として、議長が神野勝三郎委員を指名した。</p>		

	<p>(1) 協議事項 平成 26 年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について 「資料 1 平成 26 年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について」及び「資料 1-1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」を用いて、平成 26 年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について提案し、承認いただいた。</p> <p>(2) 報告事項 ①加茂地域予約型乗合タクシー及びコミュニティバスの運行について 「資料 2 加茂地域予約型乗合タクシー及びコミュニティバスの運行事業者について」及び「資料 2-1 奥畑線・通学線のダイヤ改正について」を用いて加茂地域予約型乗合タクシー及びコミュニティバスの運行について報告した。 ②木津川市コミュニティバスの利用状況について 「資料 3 コミュニティバス利用者数の推移」を用いて木津川市コミュニティバスの利用状況について報告した。 ③1 日フリー乗車券の販売状況等について 「資料 4 1 日フリー乗車券の販売実績等について」を用いて木津川市コミュニティバス 1 日フリー乗車券の販売状況及び利用状況並びに販売場所について報告した。</p> <p>(3) その他 ①次回法定協議会の日程について 事務局が調整を行い、委員へ連絡することとした。 ②その他 特になし。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 協議事項 平成 26 年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について 【配布資料】 ・資料 1 平成 26 年度地域公共交通確保維持改善事業 ネットワーク計画について ・資料 1-1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答) ○ 本計画での補助金予定額は、全体の経費に対して何割か。 ▶ 平成 25 年度予算ベースで、運行経費は 4 千 2 百万円であり、補助金は全体の約 25%である。</p>

- 利用者の年齢層など、詳細を調べたうえで協議資料を作成していただければ協議の大切な資料になる。利用者の生の声を確認したうえで、資料を作成することは可能か。
- ▶ 利用されない方については、必要ないと考えておられる方であると理解している。
調査については、市が計画している総合計画の後期基本計画の見直しを進めるなかで、公共交通に係るアンケートをとっている。そういった意見を反映し、検討していきたい。また、利用者の年齢層等については、まずは調査の方法を検討したい。
- 例えば、健康上の理由で利用したいのにできない方がいるのに、利用する方だけを対象に調査するのは間違った考え方ではないか。
- 何故利用していないのか調べることは、利用促進するうえで重要である。ただし、調査方法は難しい。山城地区や当尾地区では老人会の方に集まっていたが、生の意見を聞くなどを行っている経過があるが、引き続き行っていくべきである。重要なのは調べるだけでなく、生の声を聞いてどういった手段をとれば利用者が増えるか、絶えず考えることである。
- 南加茂台地域の集会で、コミュニティバスが運行していることを把握しているか確認したが、殆どの方はバスが走っていることを知らない。その時の意見として、木津駅や高の原駅に行きたい等の要望が多かった。例えば乗継券を作るなどの対応で、大きなネットワークとして考えてほしい。
- 市民の方は、公共交通だよりを本当に読んでいるのか疑問である。広報で特集を組んでいただくなどで周知をしてはどうか。
 - ▶ 広報誌の記事にするよりも、特に目立つ形として1枚もので作成しており、判りやすくするために折り込みを行っている。広報誌に掲載することは考えていない。
- 実際に走っていることを知られていないのは、公共交通だよりを読まれていない可能性があり、周知の方法を考え直す必要があるのでは。
 - ▶ 市としては、5年以上前から運行しており、これまで十分に周知を行っているつもりであるが、運行していることを把握されていないというのは疑問である。われわれの戦略に課題があるのかもしれないが、バスの運行を知らないと言われると、どうすれば良いのか分からない。
- 今後、利用促進を行うなかで、もっとフラットな場で、様々な意見を聞く機会を増やしていただければ、利用者は増えていくと思われる。そういった体制を作っていくべきである。
- 広報誌以外で、事業者が宣伝活動をする方法もある。例えば、車外や車内にコミュニティバスの案内を掲示すれば周知ができるのではないか。
- 利用促進には、利用者の生の声を聞くのは貴重である。また、利用促進はタイミングにより進化させないといけないし、複数の媒体による広報を実施しないといけない方法もある。広報誌への掲載方法についても時期に応じて、考え直す必要があると思われる。本日の意見を聞くなかで新たな策を考える必要がある。
- 近畿運輸局が提示された、二次評価の達成状況とネットワーク計画と同じ内容

である。これは、同じような効果を引き続き求めていくということで、市と運輸局の考えが一致しているということによいのか。

- ▶ 近畿運輸局の二次評価結果については、本協議会が策定した目標設定を引き続き達成させるよう、事業を実施していくようにと捉えている。
- 利用者数について、例えば、通学線であれば同じ生徒が1日二回利用される。通勤利用でもダイヤが良ければ、毎日利用される。ダイヤなど少しの違いで極端に利用者に差がでることを、我々が理解するべき。
- デマンド化に変更するにあたり、定時定路線のダイヤにこだわる必要があるのか。利用促進が図られるようにダイヤを考慮することが、メリットになる。
- 平成24年度の利用者数は平成21年度と比較して、3割ほど減少しているが、その分析はされているのか。
- ▶ 平成22年3月に、きのつバスの料金を改定していることが影響している。また、きのつバス木-1・木-3では、中学生が多く利用されていたが、中学校の校区が変更されたことも影響している。
- 毎年利用者数が減少しているのは、料金改定だけではないと思うが。
- ▶ JRでは、加茂駅から大阪へ向かう昼間の電車の運行本数が減っている。近鉄でも昼間の運行本数が減っており、全体的に公共交通離れにより減ってきているのが現状。ただ、人口が特に増加している木津南地域では、利用者が増加している。
- このままで推移していると、利用者は減少していく。それは今回の計画に反映されていないのか。
- ▶ 平成21年度からみると減少が顕著に現れているが、平成24年度でみると若干増えている状況である。ただ、加茂地域では固定の利用者が多く、一路線で、一人の状況が変わると、年間の利用者数が大きく変わってしまう。今後、利用者が増えるように取り組んでいく必要がある。
- 世界的に路線形態をみると、例えば自転車を目的地まで運ぶ方法もある。また、平日だけでなく、土日も運行し利用促進の作戦を立てられるのではないか。利用の形態は日々変化しており、状況に応じて多角的に考えて利用促進を行っていくことが重要である。

(2) 報告事項

- ①加茂地域予約型乗合タクシー及びコミュニティバスの運行について
- ②木津川市コミュニティバスの利用状況について
- ③1日フリー乗車券の販売状況等について

【配布資料】

- ・資料2 加茂地域予約型乗合タクシー運行業務及び加茂地域コミュニティバス運行業務の運行事業者について
- ・資料2-1 奥畑線・通学線のダイヤ改正について
- ・資料3 コミュニティバス利用者数の推移
- ・資料4 木津川市コミュニティバス 1日フリー乗車券の販売実績等について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木津川市内に自治会の無いところはあるのか <ul style="list-style-type: none"> ▶ 梅美台地域の一部や城山台地域では自治会が設置されていない。 ○ ここ最近では、活字離れが多くなっていると思われる。広報誌も全て目を通す人は少ないと思う。また、人の集まりが少なくなっているなかで、住民の皆さんに、親切に詳しく話をしていくことは重要ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 本年の4月にの地域長会議において、コミュニティバスの利用のお願いや、運行の変更について説明している。また、4ブロックの民生児童委員の総会でも運行の内容や、1日フリー乗車券の説明を行ってきた。地域の集まりで説明してほしいといった要望があれば、いつでも積極的に説明に伺うので、連絡をいただきたい。 ○ 行政、事業者、地域住民、地域外の方が集まって、公共交通のことを考えるのは非常に重要である。本日の会議は、アイデアを出す場でもあるのではないか。行政任せだけでなく、地域住民の方もアイデアを出していくべきである。各々が何を出来るか考える必要があるのではないか。 ○ 利用状況で、当尾線の平成24年の6月が例年に比較して多いのは何か理由があるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 毎年6月は、当尾地域で岩船寺のあじさいが見ごろであり、岩船寺への来訪者が増えたことが原因ではないかと考えている。 ○ 昨年6月は、当社の広報誌で当尾地区の特集を組んだ記憶があり、その効果があったのか確認したいが、他に特別な利用促進は行ったのか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特別な利用促進は行ってない。 ○ 加茂路線は当尾線を除いて、土日が運行していないのは、観光地があるのに利用できないが、運行しない理由があるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ コミュニティバスは、公共施設への移動などを目的としているため、平日のみの運行としている。 ○ 一般的には、土日は利用が少ないので、慎重に考える必要がある。観光利用が見込まれれば運行するべきとは思いますが、車両の大きさなどを考えると難しいのではないか。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次回法定協議会の日程について ②その他 会議結果要旨のとおり。
<p>その他 特記事項</p>	